

教育長定例記者会見

日時：令和2年12月23日（水）11：00～

場所：危機管理センター
2F 災害対策室5・6

<広報事項>

- 令和2年12月－令和3年1月の広報事項<教育委員会>
・・・・・・・・2

<話題提供>

- 滋賀県インクルーシブ教育賞について
・・・・・・・・4

- 新型コロナウイルス感染症を通して学ぶ人権学習指導資料について

※リーフレット配布

<学校現場の取組紹介>

- 県立虎姫高等学校
・・・・・・・・6

令和2年12月～令和3年1月の広報事項＜教育委員会＞

日時(期間)	タイトル	内容・会場 参加料(有料・無料の別)・事前申込の有無等	所属 (課名、室名、 機関名、学校名)	問い合わせ先 (担当者名、 電話・内線番 号)
① 学校行事、募集等				
12月23日(水) 24日(木) 25日(金) 【各日とも】 1部:10～11時 2部:11～12時 3部:13～14時 4部:14～15時 5部:15～16時	冬休み 子どもの本まつり 新しい子どもの本の展示会	今年の1月から12月までに刊行された、新しい絵本や読み物をご覧いただけます。希望される方には、よみ聞かせや読書案内もいたします。 ・会場：滋賀県立図書館 地下1階大会議室 ・参加費：無料 ・定員：各部5組(1組5名程度) ・受付：先着順 ※空きがある場合は当日でも ・申込先：滋賀県立図書館 児童室カウンター	図書館	高田 裕文 077-548-9691
12月27日(日) 13:30～16:00	愛知高校音楽コース定期演奏会ミュージックフェスティバル	愛知高校音楽コースにおける授業の一環として位置づけ、成果発表の場として取り組みます。専科による実技演奏、吹奏楽・重奏、合唱・重唱、創作ミュージカルの発表を予定しています。 ・会場：愛荘町立ハーティーセンター秦荘 大ホール ・参加料：無料 ・事前申込：不要 ・対象：どなたでも	愛知高等学校	教頭 岸村 米和 0749-42-2150
1月9日(土) 13:45～17:00	日野高カフェ	日野高校で「商品開発販売実習」を選択している生徒が、地域のひととのふれあいと、商品開発、原価計算などを学ぶことを目的に、カフェを運営します。 ・会場：日野駅舎内「なないろ」	日野高等学校	教頭 神崎善明 0748-52-1200
1月13日(水) 9:30～16:00	第2回「しがしごと検定」(清掃メンテナンス基礎級・初級)	県立特別支援学校高等部生徒を対象に、「しがしごと検定」(技能検定)を開催します。就労意欲の向上や就労に必要な態度や技能を高めるため、学校と企業とが連携し学習に取り組んでいます。 ・会場：大津市ふれあいプラザ(明日都浜大津4階) ・参加料：無料 ・事前申込：在籍の県立特別支援学校を通じて申込	特別支援教育課	武田 知子 077-528-4643 (内線4643)
1月14日(木) 9:30～17:00	第2回「しがしごと検定」(中級・上級)	県立特別支援学校高等部生徒を対象に、「しがしごと検定」(技能検定)を開催します。就労意欲の向上や就労に必要な態度や技能を高めるため、学校と企業とが連携し学習に取り組んでいます。 ・会場：大津市ふれあいプラザ(明日都浜大津4階) ・参加料：無料 ・事前申込：在籍の県立特別支援学校を通じて申込	特別支援教育課	武田 知子 077-528-4643 (内線4643)
1月14日(木) 13:00～16:00	家庭科学科3年生「課題研究発表会」	家庭科学科の3年生が専門科目「課題研究」(被服・食物・保育)で取り組んできた成果を発表します。 ・会場：ピアザ淡海 ・参加料：無料 ・事前申込：必要 ・対象：保護者等関係者	大津高等学校	樋口 祥子 077-523-0386
1月19日(火) 9:00～17:00	第2回「しがしごと検定」(商品加工)	県立特別支援学校高等部生徒を対象に、「しがしごと検定」(技能検定)を開催します。就労意欲の向上や就労に必要な態度や技能を高めるため、学校と企業とが連携し学習に取り組んでいます。 ・会場：草津市立市民交流プラザ(フェリエ南草津5階) ・参加料：無料 ・事前申込：在籍の県立特別支援学校を通じて申込	特別支援教育課	武田 知子 077-528-4643 (内線4643)
1月20日(水) 13:15～15:30	令和2年度課題研究発表会	総合学科の課題研究の発表会です。 ・会場：高島市民会館(今津町中沼1-3-1) ・対象：総合学科第2学年、第3学年の生徒、教職員、学校評議員等	安曇川高等学校	教頭 饗庭 庄城 0740-32-0477
1月～3月	滋賀県インクルーシブ教育賞表彰式の開催について	障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒を表彰することを通して、共に学び共に生きる児童生徒の心を育むとともに県民のインクルーシブ教育や共生社会に対する理解促進を図ります。日程、会場等は未定。(決まり次第資料提供します)	特別支援教育課	槇森 恭史 077-528-4643

令和2年12月～令和3年1月の広報事項＜教育委員会＞

日時(期間)	タイトル	内容・会場 参加料(有料・無料の別)・事前申込の有無等	所属 (課名、室名、 機関名、学校名)	問い合わせ先 (担当者名、 電話・内線番 号)
② 研修・会議等				
1月22日(金) 13:30～16:30	令和2年度「学校を核とした地域力強化プラン事業成果報告会」	地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの取組事例報告や有識者による講演をとおして、今後の地域と学校の在り方についてともに学びます。 ・会場：滋賀県庁東館7階大会議室 ・参加料：無料 ・事前申込：必要 ・対象：地域学校協働活動関係者、コミュニティ・スクール関係者、各市町事業関係者、公立幼稚園・小・中学校教職員、県立学校教職員	生涯学習課	藤本 聡子 077-528-4654 (内線4654)
1月26日(火) 13:40～15:45	第6回ふれあい教育対談	県教育委員が県内の学校や教育関係機関等を訪問し、子どもたちの学習状況や施設等を視察するとともに、関係者の皆さんとの対談を通して、地域の教育事情を把握します。 ・会場：草津市立老上西小学校 ・テーマ「小学校におけるプログラミング的思考の育成」	教育総務課	森野 浩史 077-528-4512 (内線4512)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載している催し物が中止・延期になる可能性があります。事前にお問い合わせください。

滋賀県インクルーシブ教育賞

共生社会の
実現に向けて

「滋賀県インクルーシブ教育賞」は、県内の全ての小中高等学校、特別支援学校を対象に、学校生活において障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った小中高校生に対して表彰するもので、平成 30 年度に創設しました。この表彰をすることを通して、共に学び、共に生きる児童生徒の心を育むとともに、県民のインクルーシブ教育や、共生社会に対する理解促進を図る機会になればと考えています。

今年度表彰するのは、2組
3校の児童生徒となっていま
す。それぞれ、障害のある児
童生徒とない児童生徒が長
年にわたり継続して共に学ん



【 令和元年度に受賞した児童 】

だり、活動したりすることを通じて、互いに成長し合えた取組となっています。

表彰は、1月～3月の間に、学校の状況に応じたかたちで行う予定をしております。

【インクルーシブ教育システムとは】

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

(文部科学省HP「共生社会の形成に向けて」から抜粋)

問い合わせ先: 滋賀県教育委員会事務局特別支援教育課(電話 077-528-4643 担当: 槇森)

令和2年度滋賀県インクルーシブ教育賞の受賞について

部門	受賞団体(学校)	学部 学年	受賞の理由
1	小 草津市立南笠東小学校	4年生	<p>同じ小学校区で学ぶ同年代の児童が、一緒に作品づくりや遊びを通じた交流をすることで、地域で共に生きるインクルーシブな社会を考えるきっかけになる取組を約30年間継続して行っています。草津市立南笠東小学校の4年生児童が草津養護学校を訪問し、小学部の各教室に分かれて楽器の演奏披露や作品づくり、遊具を使った遊び等の活動を通して交流してきました。</p> <p>今年度は、コロナウイルス感染症の感染防止のため、訪問に代わる交流を予定しています。</p> <p>南笠東小学校は、これまで取り組んできた全児童を対象とし、代表として当該学年の4年生を、草津養護学校は、小学部児童全員を表彰します。</p>
	小 県立草津養護学校	小学部	
2	中 彦根市立稲枝中学校	卓球部	<p>平成30年度に弱視生徒が卓球部に入部しました。障害のある生徒は、入部した頃は、視覚障害者向けのゴロ卓球を考えていましたが、活動を通して、ボールがラケットに当たるようになり、少しずつ卓球に自信が出てきました。障害のない生徒は、障害のある生徒が何に困っているか、どこにボールを打てばよいか考えながら練習することにより、部員同士の信頼関係の醸成や自らの技術の向上につながりました。</p> <p>練習試合では、他校の生徒に障害について説明し、理解してもらうことで、両校が協力して試合運営を行いました。</p> <p>また、障害のある生徒が在籍した小学校で作られた、全校児童に弱視のことを知ってもらう掲示物が中学校に引き継がれ、現在も中学校の校長室前に掲示されています。</p> <p>部員全員が日頃の活動を通してお互いに学び合い成長できたことを評価して、稲枝中学校卓球部全員を表彰します。</p>

※各表彰式の日程は、1～3月で調整中です。決まり次第、資料提供する予定です。

※表彰者は教育長の代理者になることがあります。

※本件に関わるお問合せは、特別支援教育課担当者までお願いします。



滋賀県立虎姫高等学校

令和2年、創立100周年を迎えました

学校の概要

- 本校は、大正9年に虎姫高等学校の前身である県立虎姫中学校として開校しました。その後、昭和23年の学制改革に伴い、県立虎姫高等学校となりました。以来、湖北地域の進学校として、本年創立100周年を迎え、長い歴史と伝統を刻んできました。
- 校訓は、旧制中学校以来、「質実剛健」「独立自主」「方円自在」です。この精神を受け継ぎ、「真に実力を持ち、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人間を育成する。」を教育目標とし、生徒は学習や学校行事、部活動等に主体的に取り組んでいます。

学校の特徴

- 湖北地域の歴史ある進学校として、優秀な人材を輩出してきました。**
 - ・美しい自然環境の下、きめ細かな指導と生徒自身の向上心により、今春の現役進学率94%、国公立大学へも毎年4割程度の合格者を出しています。
 - ・生徒の部活動への参加率も9割程度と高く、今年度も運動部のうちソフトテニス女子、卓球男子、水泳、陸上部などが近畿大会に出場し、文化部では新聞部が全国高等学校総合文化祭新聞部門において2年連続で最優秀賞を受賞しました。
- SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として、2期4年目を迎えています。
 - ・すべての生徒に3つの力(探究力・表現力・協働力)と2つの態度(主体的な態度・科学的な態度)を養い、将来の科学者や、科学技術を支える市民を育てています。理系の生徒だけでなく、全ての生徒に探究的で高度な学びの機会を提供しています。
 - ・教科「究理」：課題研究や野外調査を通して物事を探究していく力を身につけます。「究理Ⅰ」は1年生全員が履修し、フィールドワーク等を行います。
 - ・サマーセミナー：2年生が、大阪大学・滋賀医科大学・滋賀県立大学・金沢大学・滋賀大学などで探究的学びを体験します。
 - ・バイオセミナー：1年生全員が、長浜バイオ大学で、生命科学の最先端に触れます。
 - ・電子黒板を活用：全HR教室および講義室に設置された電子黒板等ICT機器を活用し、わかりやすい授業を行っています。
- 本年度より、国際バカロレア(IB)ディプロマプログラム(DP)が始まりました。
 - ・西日本の公立高校で初のIBワールドスクールとなりました。2学期のプレ科目の実施に続き、3学期より本格的なIBの授業が開始されます。
 - ・カリキュラムは、探究をベースにしたIB科目と思考スキルと自己管理能力を鍛える3つのコアで構成されています。3つのコアとは、思考スキルを鍛える授業(TOK)、自分でテーマ設定する論文(EE)、そして、自分で企画して活動する(CAS)です。
 - ・3年生の11月に、DP試験を受験し、その資格を進学にも活用します。
- SSHやIBを含めた教育活動を充実させることで、生徒の主体性を育み、国際社会や地域で活躍する人材の育成に努めています。



究理Ⅱ 課題研究の様子



電子黒板を活用した授業



IBDPの授業風景

今後の話題

■「究理ⅡS」SSH 課題研究発表会

日時：令和3年2月22日(月) 13:40 ~16:00

場所：虎姫文化ホール(長浜市宮部町3445)

内容：・2年生「究理ⅡS」選択生が、1年間の研究の成果を、口頭発表します。

- ・本年は、物理2班、化学2班、生物2班の6班が発表します。
- ・参加者は2年生理系生徒と1年生「究理ⅡS」受講予定者で、発表を聴講し、評価し、議論を交わすことで理系人材として必要な科学的リテラシーを涵養します。

取材のお問い合わせ
 担当 教頭 田濃 良和
 TEL 0749-73-3055
 住所 長浜市宮部町2410
 学校のウェブページのURL
<http://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp/>